



「有松絞り」の柄に知恵絞る

(名古屋市緑区有松町)

郷土
eye

江戸初期から始まり、四百年ほどの伝統をもつ有松絞り。この絞りの技法と染色工程を楽しく学ばせようとしたのが「有松絞教室」だ。

名古屋市緑区の絞り染世家、久野剛登さんが中心となり、八三年から仕事を開放している。五百人以上の卒業生が巣立ち、実力をつけて公募展に挑戦する人も多い。

ただ、職人の高齢化や後継者不足など絞りの産地を取り巻く環境は厳しい。この教室の先生は「絞りは昔、市民の生活の一部だった。絞りのおもしろさと、芸術的な価値を少しでも多く学んでほしい」と話している。

